

平成31年2月14日

内閣府
内閣官房
外務省
防衛省

藺浦内閣総理大臣補佐官のエジプト訪問（概要）

現地時間2月2日（土）から3日（日）まで、藺浦内閣総理大臣補佐官は、エジプトを訪問し、多国籍部隊・監視団（MF0）の視察や、アブルナガ大統領補佐官との会談を行ったところ、概要以下のとおり。

1 MF0 視察

（1）藺浦補佐官は、MF0の北キャンプ及び南キャンプを訪問し、治安状況、勤務・居住環境、職務内容、防護措置・安全対策等に関し、視察を行うとともにスチュアート MF0 司令官との意見交換を実施。また、実際の勤務状況等を把握すべく、MF0の司令部の置かれている南キャンプ内（於：シャルム・エル・シェイク）で一泊するとともに、司令部要員との交流を通じた意見聴取を実施。

（2）同司令官は、MF0が設立以来、エジプト・イスラエル平和条約の履行状況に関する監視活動を通じ、両国間の対話及び信頼醸成を促進し、両国間ひいては地域の平和と安定の維持に寄与してきたと説明。我が国が1988年度以来、財政支援を通じてMF0の活動に寄与してきたことを評価するとともに、MF0の活動の円滑化に寄与しているとして謝意を表明。

（3）同司令官は、MF0の役割は、伝統的な国連PKO同様の停戦監視ミッションである旨述べた。また、MF0司令部所在地を中心とするシナイ半島南部の情勢は概ね平穏であるとの認識が示された。

（4）藺浦補佐官からは、我が国が要員を派遣する場合には、国際平和協力法上の、いわゆる「参加5原則」が満たされる必要がある旨説明し、同司令官は、我が国の「参加5原則」の内容について理解を示した。

2 アブルナガ大統領補佐官との会談

（1）藺浦補佐官はアブルナガ補佐官との会談において、二国間関係強化のため、TICAD7や経済協力等について意見交換を実施。

（2）同大統領補佐官は、MF0の活動が、エジプト・イスラエル両国間の安定の象徴となっている旨発言。

（了）